

令和5年度 東久留米市立 南中学校

学校評価報告書

学校教育目標	『愛』 =自分とともに他者を大切にする力、豊かな人間性 『勉学』 =知識・技能、思考力、判断力、表現力 『自主性』=新しい自分の可能性に挑戦し、よりよい社会を目指そうとする力 『健康』 =自分の心と身体の健康を把握し、その保持増進を目指す力	教育ビジョン	【目指す学校像】	(1)生徒に生きる力(豊かな人間性、確かな学力、健康と体力)を育む学校 (2)生徒の自己有用感を高め、個性を尊重し、一人一人の可能性を伸ばす学校 (3)保護者や地域社会の期待に応え、地域社会との多面的な連携と、生徒と教師の信頼関係に基づく教育が行われている学校
			【目指す児童・生徒像】	(1)目標に向かい主体的に学び考え行動する生徒 (2)自分の役割や責任を認識し、そこに価値を見出し自己肯定感をもつ生徒 (3)心と身体の健康を大切にし、自分の可能性に挑戦する生徒 (4)多様性を認め、よりよい未来の社会を創造しようとする生徒
			【目指す教師像】	(1)授業を大切に、生徒一人一人の力を伸ばさせるため、常に授業力の向上を目指す教師 (2)厳しさと温かさを兼ね備え、生徒一人一人の個性や可能性を伸ばすとともに、生徒に社会人としての範を示す教師 (3)生徒、保護者や地域社会の期待に応え、厚い信頼を得られる教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	○ 学力の二極化に対応するための、基礎的基本的な学力の定着による底上げと思考力・判断力・表現力の向上、書き力の育成。 ○ 不登校の未然防止と早期段階からの組織的対応、および外部機関と連携した対応。			

東久留米市第2次教育振興基本計画				中期経営目標	短期経営目標	評価指標・評価基準		自己評価		学校関係者評価		次年度の方策
No.	三つの柱	基本施策	今年度学校で重点を置く「具体的施策」	(令和7年度までの3年間)	(1年間)	取組指標	成果指標	取組	成果	評価	コメント	
1	I 健全育成	規範意識や他人への思いやりなど豊かな心を育む教育の推進	人権教育の推進	生徒一人一人の道徳的実践力の育成	道徳的価値について深く考え、道徳的実践力につながる授業	道徳授業地区公開講座で、道徳的価値について深く考えさせる工夫のある授業を全クラスで行う。	生命の大きさ、規範意識を育てる等、道徳性を育む教育をしていると、生徒・保護者の肯定的評価 4…80%以上 3…70%以上 2…60%以上 1…60%未満	4	生94.8% 保92.3% 4	3.8	・「いちよう教室」とても期待しています。学校に行こうという気持ちがあるようになってほしい。	道徳授業地区公開講座で生徒の授業後に保護者にも授業を実施するなど、今年度の指導教諭からの助言を生かした取組を進める。
2	I 健全育成	個性を認め合う教育の推進	教育相談体制の充実	人間関係形成能力の育成、早期の組織的な不登校生徒への対応での不登校生の状況改善	校内委員会による様々な側面からの早期分析と、外部機関との連携による不登校生徒の状況の改善	不登校生徒の生活状況改善に向け、個々の生徒の状況に応じた具体的な対策を組織的に進める。	不登校気味の生徒への組織的な対応ができたとの、教員の肯定的評価 4…80%以上 3…70%以上 2…60%以上 1…60%未満	4	教81.3% 4	3.8	・「いやだった」を無くす。「いやだ」と言える環境が大事。	いちよう教室(校内別室指導)の生徒個々への対応について、毎週の校内委員会での校内別室登校支援員からの報告を受けて柔軟に利用の仕方を検討していくことでさらに不登校生徒が活用しやすい状況を作る。
3	I 健全育成	いじめ問題への対応	いじめ防止対策推進基本方針に基づいた取り組みの推進	組織としてのいじめを許さない指導と、いじめの起こらない豊かな人間関係を築く力の育成	未然防止と早期発見での適切な対応	教員全員がいじめへの正しい認識を持ち、いじめ防止のための指導を様々な場面で行う。	いじめ防止に努めていると、生徒・保護者の肯定的評価 4…80%以上 3…70%以上 2…60%以上 1…60%未満	4	生82.9% 保88.0% 4	3.8	・数学のクラス別授業を参観させていただき各自の工夫が良くわかりました。	未然防止と初期対応の強化のために、年度当初の校内研修で具体例を挙げ、校内での基本方針を全教員で確認する。
4	II 学力向上	確かな学力の育成	基礎的・基本的な学力の定着と学ぶ意欲の向上	基礎的・基本的な学力の定着・個に応じた指導	生徒一人一人の実態・状況に応じた工夫のある授業	教員の90%以上が、生徒の実態に応じた指導形態を工夫した授業を実施する。	生徒の実態に応じた指導形態を工夫している、生徒・保護者の肯定的評価 4…80%以上 3…70%以上 2…60%以上 1…60%未満	教94% 4	生83.8% 保76.4% 3	3.8	・「地域参加」が保護者の評価が高いというのは地域との連携を望んでいるんだと思う。	若手教員の校内で実施する研究授業を他の教員からの助言を受ける機会として活用、他教科での工夫を自教科でどう生かすかも含めたコメントを必ず授業者本人に伝え、双方の学びの機会とする。
5	II 学力向上	確かな学力の育成	ICT機器活用等による多様な指導方法の工夫	ICT機器の活用による、生徒の個に応じた指導と主体的な学び	支援員の協力も得てのGIGAタブレットを効果的に活用した授業の実施	教員の90%以上がGIGAタブレットを含むICT機器を活用した分かりやすい授業を実施する。	教員はタブレット等のICT機器を利用して、わかりやすい授業を行っている、生徒・保護者の肯定的評価 4…80%以上 3…70%以上 2…60%以上 1…60%未満	3	生90.7% 保85.4% 4	4.0	・南中生はとても前向きな生徒が多いと思います。次年度も期待します。	授業中の生徒の意見集約やそのデータの評価への活用にGIGAタブレットを有効に活用できるように、ICT支援員との連携を進める。
6	II 学力向上	日本人としての自覚と豊かな国際感覚をもつ人材の育成	英語教育と国際理解教育の推進	国際社会で活躍できる日本人の育成	ALTや外部人材の積極的な活用と国際交流	国際交流をねらいとした行事を全学年で行う。	国際社会で活躍できる日本人の育成に努めていると、生徒・保護者の肯定的評価 4…80%以上 3…70%以上 2…60%以上 1…60%未満	4	生81.4% 保60.7% 2	3.7	・これまでの規則やルールにとらわれず、時代に応じた改善や工夫をさらに進めてください。	海外の学校との交流やTGGの事前事後の教育活動の保護者へのさらなる周知と英語科の授業内容の周知を進める。
7	III 教育環境の整備	特別支援教育の充実	特別支援教育の充実	生徒一人一人の教育ニーズに応じた適切な指導・支援の充実	校内委員会での支援内容の多面的検討と、支援シートを活用した特別な支援が必要な生徒への適切な指導・支援	組織的な取組により、特別な支援を必要とする生徒に教員の90%以上が支援を考慮した対応を行っている。	特別支援教育に組織的に対応していると、生徒・保護者の肯定的評価 4…80%以上 3…70%以上 2…60%以上 1…60%未満	3	生86.9% 保77.4% 3	3.3	・学力向上に向けた取組が感じられて良かった。	特別支援教室の目的と具体的な指導内容の生徒や保護者への説明を巡回指導教員とともに進行。
8	III 教育環境の整備	安全・安心な学校づくり	地域や保護者と連携した防災教育	防災計画や危機管理体制の充実	地域と連携した地域防災訓練の実施、及び多様な事態を想定した避難訓練の実施	消防署及び地域と連携した防災訓練を実施する。	学校は安全対策を実施していると、生徒・保護者の肯定的評価 4…80%以上 3…70%以上 2…60%以上 1…60%未満	4	生92.6% 保88.9% 4	4.0	・地域と連携し、防災訓練や教育活動を実施して、生徒や保護者の理解を得ているので非常に良いと思った。	地域連携防災訓練をさらに充実させるため、日程の検討や校内の地域連携組織での体制の整理を進める。
9	III 教育環境の整備	安全・安心な学校づくり	地域や外部人材を生かした体験活動の充実	地域や外部人材の活用による教育活動の充実	地域と連携した取組の実施と、外部人材を活用した教育活動の持続可能な組織づくり	地域連携や外部人材を活用した新しい教育活動を実施する。	学校は青少協をはじめ、地域行事に積極的に参加していると、生徒・保護者の肯定的評価 4…80%以上 3…70%以上 2…60%以上 1…60%未満	4	生89.9% 保91.9% 4	4.0	・南中の全体の雰囲気が良い感じが授業を拝見したときに感じました。生徒と良好な関係を続けていただけたらと思います。	外部人材や関係団体との安定した連携を今後も持続するために、校内の地域連携組織の仕組みを修正・整備し、生徒の自己肯定感、社会参画意識の向上への取組を進める。